

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
国語表現	2	3年・3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
鴻田勝時・南濱喜和・前田真理子		教育出版国語表現	

科目の到達目標
・話す・聞く・書く技術を高め、小論文作成の力を養う。
・社会生活に役立つ表現力・理解力を身につける。
・語彙力をつける。

評価の観点と方法について
・教材文の内容が的確に理解出来ているか。内容に共感し、的確に批判することができるか。
・授業への参加態度、課題プリントを活用した提出物から取り組みの深さを判断する。
・適宜感想文や小論文の作成を促し、提出させる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	「言葉に変える」	自己の表現能力の実態を把握し、表現を工夫することの必要性を知る。	視写、聴写、メモを書く、図を言葉に変える等の作業を通して、表現の工夫の必要性を知る。
	5	「声の表現」	話すことの大切さに気付く。 感じたこと・考えたことを正確に他者に伝える為の方法を学ぶ。	呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、声の出し方を学ぶ。 声の高低・間の取り方を工夫して話す練習をする。 三分間スピーチに挑戦する。
		「漢字と語彙」	日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を養う。	漢字の構造や部首のはたらきを理解し、漢字の読みや意味を考察する。
	6	小論文Ⅰ ①意見文を論理的に述べる ②セルフ・ディベート ③文章の「型」－ 構成の方法 ④構成ノート ⑤テーマ型小論文の実際 ⑥文章のリフォーム－ 推敲 (期末考査)	小論文の種類を知り、根拠を論理的に述べることの大切さを理解する。 自分の意見の反論を想定する。 文章構成の方法を学ぶ。  文章を書くための設計図を作る。 実際に小論文を書く。 推敲の方法を学ぶ。	自分の意見を明確にし、根拠とともに文章化する。 論題について立論・反論・主張のメモを作成する。 三段構成の構成法と構成上の特徴を理解する。 論題について構成ノートを作成する。 文章を推敲し、読みやすくする。
	7			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小論文Ⅱ ①要約の方法 ②課題文から問いを見つ ける ③課題文型小論文の実際 ④データを読む  ⑤データ型小論文の実際	要約の方法を学ぶ。 課題文に応じた論の進め方を学 ぶ。 実際に小論文を書く。 グラフや表など視覚的資料を読み 取る力を養う。 実際に小論文を書く。	新聞の社説やコラムを用いて、要約 文を書く練習をする。 課題文をよく読み、何が求められて いるか考える。 課題文を要約し、自分の意見を述べ る練習をする。 グラフや表のデータならではの注意 点を学び、資料を読み取る練習をす る。
	10	面接—社会との接点 ①自己を分析する ②質問と応答のレッスン ③模擬面接をする	自己を知り、場面を判断し、相手 に配慮して、自分の意見を述べる 力を養う。	自己アピールを作成する。 伝わる話し方について理解する。 面接の基本事項を学ぶ。
	11	プレゼンテーションの方 法	コミュニケーションの諸技術を総 合的に活用する力を付ける。	プレゼンテーションの実例をもとに 発表内容と伝達方法を検討する。
	12	(期末考査)		
三 学 期	1	話し合いの技術	話し合いには協力して最良の成果 を生み出すための意識的な努力が 求められることを理解する。	身近な話し合いを見直す。 実際に問題解決のための会議、ディ ベートを行う。
	2	メディアのリテラシー  まとめ  (学年末考査)	高度情報化社会における受信者・ 発信者の責任について理解する。  表現の技術は人間が社会生活を営 むために必要な、もっとも基本的 な技術であることを確認する。	情報が受信者によって多様に解釈さ れる具体例を考える。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

生きた日本語を身につけさせるようにするため、単に読んで理解するという段階にとどまらず、それを受けて、自分の考え方を表現し、他者へ伝達する方法としての言葉を意識させる。  
漢字力強化にも力を注ぎ、日本語の正しい知識が身につくよう意識させる。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文B	3	3年・1類・AC型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
前田真理子・南濱喜和・鴻田勝時		精選現代文(東京書籍)	常用漢字ダブルクリア ・キーワードの卵 等

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。
小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「言語と記号」 丸山圭三郎	・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・筆者の主張が何であるのかを的確に掴み、抽象論を性格に理解する。 ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	5	小説 「檸檬」 梶井基次郎	・鋭い言語感覚、優れた表現効果を味わう。	・独特の世界観や内面表現を通じて、ユーモアに富んだ小説を味わう。
		1学期中間考査		
	6	評論 「平気 - 正岡子規」 長谷川権	・歌論を読み、作品鑑賞の感じ方を深める。	・作品からどのようにして筆者が主張を導き出したのかを考え、理解する。 ・一般論と筆者の主張の対比を理解する。
	7	評論 「他者の声 実在の声」 野矢茂樹	・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。 ・筆者の主張や思考を理解し、新たな知見を得て、自己解釈の在り方を見つめる。	・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。 ・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。
		問題演習  1学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随想「クレールという女」 須賀敦子	・個性的な内容の随想を読むことを通して、感性や心情を豊かにする。	・引用された『人間のしるし』の登場人物たちの生き方を通して述べられた男性観、女性観について理解する。 ・明確な答えのある評論とは違うので、自身の価値観や生き方についても考える機会とする。
	10	問題演習  2学期中間考査		
	11	小説 「舞姫」 森 鷗外	・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	12	問題演習  2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	評論 「グローバル化のゆくえ」 山崎正和	・文化の多様性と、社会制度との関係を切り口に、難解な文章の理解を深め、自らの在り方を問い直す。	・評論の読み方に習熟し、筆者のものの見方、考え方を自己の立場から批判的に読みとる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学、短大、専門学校とそれぞれ入試問題は形式が異なるので、問題傾向を調べておき、自分が必要とする力を意識しましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文B	2	3年・1類・B型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
鴻田 勝時	精選現代文(東京書籍)	常用漢字ダブルクリア ・キーワードの卵 等	

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。
小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「言語と記号」 丸山圭三郎	・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・筆者の主張が何であるのかを的確に掴み、抽象論を性格に理解する。 ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	5	・問題演習  1学期中間考査	・要旨を正確に読み取り、表現する力を身につける。	
		小説 「檸檬」 梶井基次郎	・鋭い言語感覚、優れた表現効果を味わう。	・独特の世界観や内面表現を通じて、ユーモアに富んだ小説を味わう。
	6	評論 「他者の声 実在の声」 野矢茂樹	・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。 ・筆者の主張や思考を理解し、新たな知見を得て、自己解釈の在り方を見つめる。	・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。 ・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。
	7	問題演習  一学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論「平気 - 正岡子規」 長谷川 權	・ 歌論を精読し、作品鑑賞の感じ方を深める。	・ 作品からどのようにして筆者が主張を導き出したのかを考え、理解する。
	10	評論「垂直のファッション 水平のファッション」 鷺田清一	・ 評論を読み、語句の意味や表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てる。	・ 人間におけるファッションや文学の役割について、複数の視点から考える。 ・ 対比構造をうまく用い、難解な抽象論を理解する。
	11	小説 「舞姫」 森 鷗外	・ 小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・ 明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・ 小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・ 主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	12	問題演習  2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	「グローバル化のゆくえ」 山崎正和	・ 現代社会が抱える諸問題を理解し、それを乗り越えるための考え方を身につける。	・ 現代の問題について考えを深め、筆者の主張について論理的に評価する。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学、短大、専門学校とそれぞれ入試問題は形式が異なるので、問題傾向を調べておき、自分が必要とする力を意識しましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	3年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
小形 孝義	精選現代文(東京書籍)	入試問題集 等	

<p>科目の到達目標</p> <p>評論、論説文などの論理展開や要旨など、構成を的確にとらえる力を養う。</p> <p>文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉え、その時代の生き方を学ぶ。</p> <p>語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。</p> <p>さまざまな文章に接し、あらゆる視点を生み出し、考える力を養う。</p> <p>演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。</p> <p>小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	小説 「檸檬」 梶井基次郎	・情景・心情を的確に捉え、表現を読み味わう。	・登場人物の心情や小説の場面展開を的確に読み取り、作者の感じ方、考え方を理解する。
	5	評論 「原始社会像の真実」 長谷川 権 問題演習	・論理的な文章を的確に読み取った上で、常識を鵜呑みにせず批判的な思考を養う。	・論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。 ・筆者のものの見方、考えかたを自己の立場から批判的に読み取る。
	6	1 学期中間考査 小説 「舞姫」 森鷗外	・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・主要人物の言動や心の働きを通して青春期の生き方について考え、日本の近代についての認識を深める。 ・文語体の表現に親しみ、文学を通して人生の意味を考える機会を持つ。
	7	問題演習 1 学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。
	11	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
		センター対策問題集		
		入試過去問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
12	2学期末考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。	
	冬期講習			
三 学 期	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げ。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・小論文模試を実施するので、予定表を見て受ける時期とテーマを決めておくこと。
- ・適宜小テストを実施する。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	3年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
小形 孝義	精選現代文B(東京書籍)	入試問題集 等	

<p>科目の到達目標</p> <p>評論、論説文などの論理展開や要旨など、構成を的確にとらえる力を養う。</p> <p>文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉え、その時代の生き方を学ぶ。</p> <p>語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。</p> <p>さまざまな文章に接し、あらゆる視点を生み出し、考える力を養う。</p> <p>演習問題を解くことで、入試への実践力を高める。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。</p> <p>小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	小説 「檸檬」 梶井基次郎	・情景・心情を的確に捉え、表現を読み味わう。	・登場人物の心情や小説の場面展開を的確に読み取り、作者の感じ方、考え方を理解する。
	5	評論 「原始社会像の真実」 長谷川 権 問題演習	・論理的な文章を的確に読み取った上で、常識を鵜呑みにせず批判的な思考を養う。	・論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。 ・筆者のものの見方、考えかたを自己の立場から批判的に読み取る。
	6	1 学期中間考査 小説 「舞姫」 森鷗外	・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・主要人物の言動や心の働きを通して青春期の生き方について考え、日本の近代についての認識を深める。 ・文語体の表現に親しみ、文学を通して人生の意味を考える機会を持つ。
	7	問題演習 1 学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。
		問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	11	センター対策問題集 入試過去問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。  ・小論文入試に対応できる力を養う。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。  ・小論文添削指導。
12	2学期末考査 冬期講習			
三 学 期	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げ。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・小論文模試を実施するので、予定表を見て受ける時期とテーマを決めておくこと。
- ・適宜小テストを実施する。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	3年 3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
南濱喜和	新編現代文B (東京書籍)		『常用漢字ダブルクリア』他

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々の文章に見られる論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方を広め、評論文の読解力を高める。</p> <p>さまざまな文学的表現に触れ、表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。語句の意味、用法を理解し、語彙量を豊かにする。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。</li> <li>生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。</li> <li>適宜漢字小テストを実施し、漢字力の向上に繋げる。作文を提出させ評価の一部とする。</li> </ul>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論「最初のペンギン」 (茂木健一郎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。</li> <li>筆者の考え方を手がかりにして、現代社会を生きるうえでどのような態度が必要か考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未知の世界へ勇気を持って飛び込むことの意味を考えてみる。</li> <li>段落ごとの役割を意識して読解する。</li> </ul>
	5	小説「山月記」 (中島敦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。</li> <li>作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。</li> <li>小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。</li> </ul>
	6	小説「カンガルー日和」 (村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情景や心理描写に注意しながら小説を読み、描かれた世界を的確にとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心のふれ合いについて考える。</li> </ul>
	6	随想「カフェの開店準備」 (小池昌代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の表現を味わいながら、その内容を的確にとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常への鋭い視線、逆転の発想が描かれた文章を読み、視野を広げる。</li> </ul>
	7	1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随想「なまけものコンプレックス」 (別役 実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性的な表現に注意しながら随想を読んで、その内容を的確に捉える。</li> <li>・逆転の発想が描かれた文章を読み、視野を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を「なまけもの」の目に置くという発想によって、人間の生き方を批判していることを理解する。</li> </ul>
	10	短歌と俳句 「信濃路【短歌】」 「春雷【俳句】」  2学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読を通して、短歌・俳句に親しみ、詩情を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌・俳句における言葉の働きを知り、表現上の特色を理解する。</li> <li>・短歌・俳句を創作する。</li> </ul>
	11	詩歌「永訣の朝」 (宮澤賢治)  評論「ホンモノのおカネの作り方」 (岩井克人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喻などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わう。</li> <li>・筆者の述べる人間や社会についての的確に理解し、評論の読み方を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な表現を深く味わい、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。</li> <li>・現代社会と人間との関わりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養う。</li> </ul>
	12	2学期期末考査		
三 学 期	1	小説「鞆」 (安部公房)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代背景や虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動、心理、性格を読み取り、作者のものの見方、感じ方を理解する。</li> <li>・小説を読んで感じたこと考えたことを仲間と伝え合うことで、理解を深めていく態度を養う。</li> </ul>
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・学習課題ノートの問題に取り組み、国語の基礎力・応用力を養成する。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	3	3年1類A・B・C型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
前田真理子・鴻田勝時・南濱喜和		古典B (数研出版)	古文単語 330 (いっぴな書店)

<p>科目の到達目標</p> <p>さまざまな時代の古典作品を読み、既修の古文単語力や文法力を活用して、そこに見られる生活感情や美意識をとらえると共に、現代の生活や価値観と比較して、古典作品の背景やそれぞれの時代の文化をより深く観賞できるようにする。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>各分野の解釈力、読解力を定期考査で評価する。その際、授業内容の暗記力でなく、初見の古文にも対応できる古文解釈のための学力が備わっているかを検証する。</p> <p>基本古語の語彙力など、入試に向けての基本的知識も確認し、評価の一部とする。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	随筆『枕草子』(清少納言) 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者の生活の様子や心情を理解する。</li> <li>『枕草子』を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清少納言と彼女を取り巻く宮中の生活や貴人たちの様子を知る。</li> <li>清少納言と中宮定子の関係を読み取り、描かれた場面を豊かに想像する。</li> </ul>
	5	漢文『呂氏春秋』 「知音」  1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き下しを正確に行い、登場人物やあらすじの把握をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次までに学習した漢文の基礎事項について復習する。</li> </ul>
		漢文『後漢書』 「梁上君子」	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の展開に即して、内容を正確に読み取らせる。</li> </ul>
	6	日記『蜻蛉日記』(藤原道綱母) 「うつろひたる菊」	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時の結婚形態を把握し、女性の心情を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌をはじめ、筆者の心情がありありと描かれる箇所を中心に読み取らせる。</li> </ul>
		日記『紫式部日記』(紫式部) 「土御門邸の秋」	<ul style="list-style-type: none"> <li>紫式部の視点とものの考え方について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の心情がありありと描かれる箇所を中心に読み取らせる。</li> </ul>
	7	1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	物語『源氏物語』(紫式部) 「須磨」 「紫の上の死」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の状況と登場人物の心情を把握し、当時の人々がどのような環境で過ごしていたかを理解する。</li> <li>・物語の主人公が長編の構成の中でどのように人間として成長し、環境に対処しているかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口語訳を通して、教材の場面をしっかりと把握する。</li> <li>・登場人物の立場を正確に把握し、男女の情愛の描かれ方を、心情とともに理解する。</li> <li>・登場人物の心情を把握し、それぞれの相手に対する心遣いを理解する。</li> </ul>
	10	漢文『論語』『孟子』『荀子』『老子』  2学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。</li> </ul>
		物語『大鏡』 「貫之と躬恒」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動や語り手の評価から、人物像を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌や会話文を中心にして、登場人物の心情や考え方を把握する。</li> <li>・和歌の修辞法・儀礼作法を理解する。</li> </ul>
	11	評論『無名草子』 「清少納言と紫式部」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の論旨を読み取り、理解しながら自分の意見もまとめてみる。</li> </ul>
		評論『無名抄』(鴨長明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌論を読み、その論旨を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古人の和歌に対する思いを理解する。</li> </ul>
		漢文『帰田録』「売油翁」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技芸に関する筆者の主張を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。</li> </ul>
	12	2学期末考査		
三 学 期	1	随筆『玉勝間』(本居宣長)  3学期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学問に対する作者の姿勢を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語をおさえ、的確に現代語訳する。</li> <li>・作者の考えを読み取り、理解しながら自分の意見もまとめてみる。</li> </ul>
<p>その他 ( 履修上の留意点・大学等進学のための学習など )</p> <p>入試対策演習については、夏期講習と冬期講習で集中的に講義を行うので、各自基礎的な文法事項は自主的に復習しておくこと。</p>				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	4	3年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
小形 孝義		古典B(数研出版)	入試問題集 等

<p>科目の到達目標</p> <p>1・2年次では、最も代表的、基本的な作品の読解を通して、我が国の伝統的な価値観や美意識について学んできた。その基礎の上に立って、内容的にはより高度な作品の深い読解と鑑賞を目指したい。また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>教科書には1・2年次に学習したのと同じ書名のももあるが1・2年次に学習した教材に比べると内容はかなり高度である。これらの作品を正しく読解できる力を身に付けることができれば、大学入試にも対応できると考える。さらに応用力をつけるために、問題集を併用してこれらの教材を組み合わせた形の定期考査を行ってその学習を評価する。古文単語の小テストも行い、成績に加味する。</p>
---

	学習単元・項目	学習のねらい	体的な学習内容と方法
一 学 期	4 日記文学『紫式部日記』	・日記文学の自照性に触れることで、自らの言語表現活動を振り返る。	・作者の心情を読み取り、内省的で感性・洞察力の鋭い作者の人物像を考える。
	5 物語『源氏物語』	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。
	漢文・小説『落雷裁判』	・県知事が論理的な推理と実証により犯人を追い詰めていくストーリーの面白さを味わわせる。	・疑問・受身の句法を確認しながら、内容を整理させる。
	・随筆『売油翁』 1学期中間考査	・技芸の熟練に関する筆者の主張を読み取る。	・感嘆、疑問、限定の句法を確認しながら、話題の類似性を考える。
	6 漢文・史伝『史記』	・本文の逸話を通じて、現代にも通じる知恵や生き様について考える。	・句法に注意しながら登場人物の置かれた状況と行動をが理解する。
	歴史物語『増鏡』	・承久の乱の描かれ方を、乱の前後の史実も参照しながら読み取る。	・朝廷側、鎌倉側に分けて人物整理し、本文の内容を正確に理解する。
	7 評論『風姿花伝』 1学期末考査 夏期講習	・能楽の理論だけに終わらない普遍性を持つことを理解する。	・本論と具体例の構成に注意し、具体例が何を喩えているのかを読み取る。

	学習単元・項目	学習のねらい	体的な学習内容と方法
二 学 期	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。 ・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。 ・古典文法・古文単語の確認。
	2学期中間考査 問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	センター対策問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
	入試過去問題集	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
	2学期末考査 冬期講習		
三 学 期	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げをする。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・適宜単語・復習テストを行う。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	2	3年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
小形 孝義		古典B(数研出版)	入試問題集 等

<p>科目の到達目標</p> <p>1・2年次では、最も代表的、基本的な作品の読解を通して、我が国の伝統的な価値観や美意識について学んできた。その基礎の上に立って、内容的にはより高度な作品の深い読解と鑑賞を目指したい。また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>教科書には1・2年次に学習したのと同じ書名のものであるが1・2年次に学習した教材に比べると内容はかなり高度である。これらの作品を正しく読解できる力を身に付けることができれば、大学入試にも対応できると考える。さらに応用力をつけるために、問題集を併用してこれらの教材を組み合わせた形の定期考査を行ってその学習を評価する。古文単語の小テストも行い、成績に加味する。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	日記文学『紫式部日記』	・日記文学の自照性に触れることで、自らの言語表現活動を振り返る。	・作者の心情を読み取り、内省的で感性・洞察力の鋭い作者の人物像を考える。
	5	物語『源氏物語』	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。
		漢文・小説『落雷裁判』	・県知事が論理的な推理と実証により犯人を追い詰めていくストーリーの面白さを味わわせる。	・疑問・受身の句法を確認しながら、内容を整理させる。
	6	1学期中間考査		
	7	漢文・史伝『史記』	・本文の逸話を通じて、現代にも通じる知恵や生き様について考える。	・句法に注意しながら登場人物の置かれた状況と行動をが理解する。
歴史物語『増鏡』		・承久の乱の描かれ方を、乱の前後の史実も参照しながら読み取る。	・朝廷側、鎌倉側に分けて人物整理し、本文の内容を正確に理解する。	
		評論『風姿花伝』	・能楽の理論だけに終わらない普遍性を持つことを理解する。	・本論と具体例の構成に注意し、具体例が何を喩えているのかを読み取る。
		1学期末考査		
		夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。 ・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。 ・古典文法・古文単語の確認。
		2学期中間考査 問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	11	センター対策問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		入試過去問題集	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
12	2学期末考査 冬期講習			
三 学 期	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げをする。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・適宜古文単語テストを行う。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。